

## ジャマイカってどんな国

国際交流協会・国際理解講座

外国人の講師を招き、外国のことについて理解を深めてもらおうと、9月18日、日野国際交流協会（小谷博徳会長）主催の国際理解講座が山村開発センターで開かれ、会員や町民約25人が参加しました。

今回は、講師に米子市の英語指導助手、ノーマン・モンローさんを迎え、出身地のジャマイカについての話を聞きました。

モンローさんは、「ジャマイカは観光が主産業の国。また、子どものころから陸上競技の教育をしっかりと受けるので、優秀な陸上選手も多く生み出しています」と話し、気さくに参加者らと交流していました。



「ブルマウンテンコーヒー」など、手にとって参加者らに説明

## まちの誇り、長江を学ぶ

生田長江入門セミナー



延暦寺は長江が漢籍を学んだゆかりのある寺

貝原出身の文芸評論家、生田長江について理解を深めようと、生田長江顕彰会・白つづじの会（河中信孝会長）主催の入門セミナーが、9月29日、延暦寺（根雨）で開かれました。

今回は、講師に昭和女子大学日本文学博士課程の中田親子さんを迎え、「生田長江の残したものと題した講演が行われました。」

中田さんは、フェミニズム研究の視点から、長江と平塚らいてうら女性運動家との関係や、長江自身の女性論などについて解説し、集まった約40人の参加者らは真剣に耳を傾けていました。

講演の後は、中田さんを囲んでのティータイムがあり、自由に意見交換をしていました。

## まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。  
☆役場総務企画課まで（電話72-0331）

## 秋のスポーツ大会結果

第22回日野カップサッカー大会

9月17日（根雨小学校グラウンド）

大会結果

優勝 福米西サッカークラブ

準優勝 河崎フットボールクラブ

第3位 東山ジュニアフットボールクラブ

根雨サッカークラブは、Aゾーン第3位、優秀選手賞に国重幸平さん

第19回日野町杯ソフトテニス大会

9月17日（日野中学校テニスコート、野田町民テニスコート）

大会結果

小学生Aクラス

優勝 三上・坂本ペア

準優勝 西村・小谷ペア

第3位 木村・長尾ペア

小学生Bクラス

優勝 名越・山本ペア

準優勝 杠・長尾ペア

第3位 長尾・稲田ペア

中学生

優勝 西村・頭本ペア

準優勝 榎原・継岩ペア

第3位 安達・稲田ペア

一般Aクラス

優勝 秋葉・藤田ペア

準優勝 杉本・松本ペア

第3位 音田・杠ペア

一般Bクラス

優勝 長尾・石田ペア

準優勝 行田・小谷ペア

第3位 小川・小川ペア





赤ちゃんも絵本に興味津々

まちでは、絵本を通して親子で温かい時間を過ごしてもらうため、赤ちゃんに絵本などをプレゼントするブックスタート事業を行っています。この事業は、今年4月以降に生まれた赤ちゃんに、絵本2冊とボランティア手づくりの木のおもちゃとバッグをプレゼントするもので、10月2日、山村開発センターで行われた乳幼児健診の際に赤ちゃんと保護者に品物が手渡されました。また、ボランティアによる絵本の読みかせや図書館の利用案内もあり、訪れた親子はリラックスした様子で話を聞いていました。

## 絵本とおもちゃのプレゼント

ブックスタート事業

## 10月6日は「日野町防災の日」

全町一斉防災訓練



役場前では、給水車による給水訓練

平成12年に発生した鳥取県西部地震の教訓をまちの防災に生かそうと、10月6日、全町一斉防災訓練が行われました。訓練は、午前9時に震度6強の地震が発生した想定で行われ、まちは直ちに災害対策本部を設置、住民は各自自治会で決められた仮避難所に避難しました。黒坂地区では、黒坂地区自主防災委員会（福田和也会長）が町公民館前に本部を設置しました。避難を終えた後は、それぞれの自治会で消火栓や消火器を使った消火訓練を行ったり、地域の消火栓・ホースの点検をするなど、いつ起こるかわからない災害への備えを再確認していました。



黒坂地区ではけが人の搬送・応急手当の訓練も

また、訓練終了後、山村開発センターで鳥取県西部地震から7年フォーラム（日野ボランティア・ネットワーク主催）が開かれました。西部地震での課題がその後の地震災害でどう生かされたかなどをテーマにしたこのフォーラムには、日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さんから県内の関係者を始め、中越地震、中越沖地震と2度の被害を受けた新潟県長岡市の危機管理防災本部総括副主幹・小嶋洋一さんがパネリストとして出席し、パネルディスカッションが行われました。パネリストらは、災害ボランティア活動などの体験をもとに意見を交換し合い、町内外から参加した約100人の参加者は、自分の被災体験を思い出し、うなずきながら聞き入っていました。



中越沖地震の状況を語る長岡市の小嶋さん（写真右）